



顎の調子が悪い患者さんへ（顎関節症）



治療方針

現在、顎関節症の治療は多義に渡りあらゆる治療方法が発表されております。本医院では、新しいものには手を出さず、**長年の実績と経験に裏づけされた治療方法を選択**しております。

顎関節症の原因は一つではありません。噛み合わせや悪習癖（頬杖や唇を噛むなど）、そしてあまり使いたくはありませんがストレス。これらによって**顔面周囲の筋肉のバランスが崩れて顎関節が不適切な位置に動いてしまった**のです。

治療方針は、基本的には歯型をとってバイトプレーン（マウスピースのようなもの）を装着します。それによって**顎の周りの筋肉をリラックスさせて顎関節を適切な位置に戻す**ことが目標です。その前に、顎の関節が痛いのか、周囲の筋肉が痛いのか、などなどよく診査を行わなければなりません。また、治療は残念ながら短期間で治るものではありません。ご自分の生活リズムに合わせて通院してください。さらに**完治を目指すのではなく慢性化（痛みがなくなる）して普段の生活に支障がなくなることを目標**に考えます。

治療開始時に、痛みなどの症状が増す可能性もあります。そのような症状が出たらバイトプレーンの装着を止めてご連絡ください。改善が見込まれない場合は精密検査が必要になりますので中核病院をご紹介します。

治療計画

- 1 診査：ここまでに至った過程をお聞かせください その後、こちらで診察いたします
- 2 歯のクリーニング：バイトプレーン装着によって歯周病や虫歯が悪化する場合があるので非常に重要です
- 3 虫歯の治療：顎関節の治療の前に左右でしっかり噛めることが前提となります。片側でしか噛めないような虫歯のある方は、虫歯の治療が先となります
- 4 歯型をとる
- 5 噛み合わせの診査：顎の動きは歯の形に影響されます
- 6 バイトプレーン装着
- 7 経過観察：最初は1週間ごと その後、2週間～1ヶ月、そして3ヶ月となります

* **上記の数字は診査回数ではありません。** また個人差がありますのでだいたいの目安とお考え下さい。



奥富歯科医院